

# 大学の「研究力」を考える

五十畑 浩平(香川大学 研究戦略室, isohata@cc.kagawa-u.ac.jp)、  
 柳生 勇(名古屋工業大学 産学官連携センター, yagyu.isamu@nitech.ac.jp)  
 山田 朗(愛媛大学 先端研究・学術推進機構 教育研究高度化支援室, yamada@sci.ehime-u.ac.jp)、  
 山本 祐輔(京都大学 学術研究支援室, yusuke@hontolab.org)

大学の

## 研究力

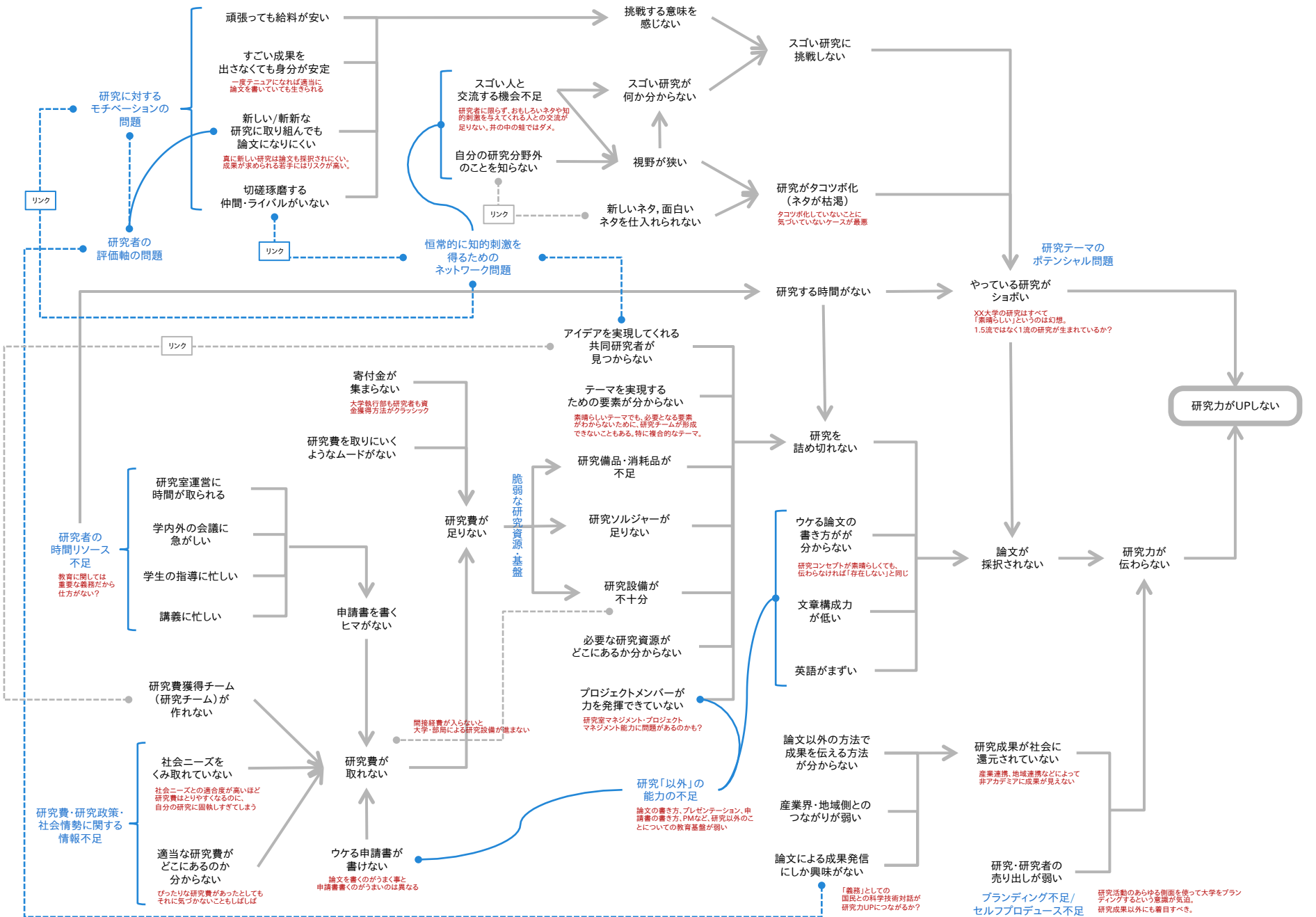
〇〇を成し遂げる力  
→ 未来志向

### 論文生産数 被引用数

### スゴい研究成果の 創出期待値

- 過去の値ではなく、**将来への期待**を評価する必要あり
- 論文では計れない研究活動・成果も存在する
- 研究者の引き抜き・特定分野の強化など、**短期的・近視眼的な研究推進戦略**に陥りがち
- 研究推進戦略に**中・長期的な視点**が入る
- **研究者個人に縛られない**幅広い研究推進戦略を考えやすい
- **URAが実際に取り組める**研究推進施策を考えやすい  
(\* URAが研究内容に直接関与することは現状難しい)

## 研究力を深く考えるためのブレインストーミング結果



研究力をあえて書き直すと...

わたしたちの考える  
**研究力**

- 研究ネットを作り出す力
- 仮説・検証能力
- 研究PM能力
- 研究内容の説明力、etc...

**研究者の研究遂行能力**

教員・研究員がもつ研究インパクトや研究遂行能力。

**組織・環境の研究推進力**

研究組織がもつ、個人の研究能力を発揮させる能力。また、持続的・恒常的な研究活動を担保する組織の環境。

- モチベーションを高める環境
- PM型研究者の養成力
- 研究の多様性とその活用力
- 研究活動・成果の発信力、etc...

**研究力を分析するだけでは意味なし。施策立案・活動改善に活かすことが重要!!**